

## 特集

# 人材確保のコツとは？

## 指導者の積極的な受け入れが 人材確保へと大きくつながる

### 伊那市総合型地域スポーツクラブ

指導者として活動したいという志の高い人を積極的に受け入れ、クラブ会員には「初心者の本クラブへ。さらに極めた人は指導者主催の講座や民間のジムへ」と、珍しい形をとっている伊那市総合型地域スポーツクラブ。クラブマネージャーらの個の熱い想いやつながりから、広く人材確保としての広報活動のため行政への働きかけなどを行ったクラブの取り組みを紹介します。

#### ♂ キーポイント

- ◎理念の見直しと組織づくりの強化
- ◎人材募集を広く告知
- ◎積極的な指導者の受け入れ
- ◎行政への働きかけ

## 1 | クラブ概要

平成13年、伊那市は文部科学省推進である総合型地域スポーツクラブの研究小委員会を立ち上げ、建議に基づき、平成18年までに市内中学校区5つに総合型地域スポーツクラブを順次設置しました。しかし、それぞれのクラブでの問題点(財源、会員・指導者確保)があり、個々での運営が難しくなりました。そこで伊那市と5クラブで必要性・公共性等各方面から検討した結果、将来にわたり伊那市のスポーツ振興を担うという位置づけを前提に5つのクラブを統合し、平成20年に「伊那市総合型地域スポーツクラブ(以下、クラブ)」として設立しました。運営委員の多くはスポーツ少年団や伊那市体育協会の指導者などで構成され、スタート時は年間活動講座数(スポーツ・運動、文化)40講座、スポーツ活動団体17団体、会員数895名だったものが、平成27年度には年間活動講座数114講座、スポーツ活動団体33団体、サークルサポートクラブ19サークル、会員数2,569名へと発展しました。

クラブ・会員がともに成長しながら地域コミュニティの形成、地域の活性化をめざし、受益者負担を含め、新しい公共事業を担っていきたいと考え実行しています。そして、常に魅力ある活動内容への見直し、地域のニーズなどのリサーチを心がけています。財政面については受益者負担だけに頼らないように、クラブ理念に賛同してくれる地元企業からの協賛・協働への働きかけをしています。そして、行政からの委託事業を積極的に受け、官と民が手を携えて地域を元気にしていきたいと活動しています。

## 2 | パンフレットやホームページで人材募集の告知

年々クラブの規模が大きくなっていく中で、マネジメントができる人材の必要性に迫られ、人材確保の取り組みを始めました。まず信用ある団体をめざすために、3年前に理念の見直しと組織づくりの強化を図りました。それと同時に多方面に、クラブ理念・クラブの目的を第一に広報し、クラブを理解してもらうところから取り組んでいきました。

広報活動としてはパンフレットやホームページに「理念に賛同し、共に目的を持って地域のためにできること……講師募集中!!」など、毎回会員募集と共に講師募集についても掲載し、認知のきっかけづくりをしています。

クラブ  
パンフレット▶

## 3 | 指導者登録も歓迎！ 民間ジムとも相互関係を築く

本クラブでは、指導者登録用紙をクラブへ提出し、スポーツ安全保険に加入していただくと、クラブの指導者として登録されます。この指導者登録にあたって特に資格等は問いません。指導者として活動したいという志がある方を歓迎しています。クラブへの指導者登録にはまず理念・目的に賛同していただきます。その中で指導者の強みを生かせる講座のマネジメントを心がけています。

基本的にクラブでは入門的な講座・教室を開催していますが、受講者がより深めていきたいものについては、指導者がクラブとは別の活動をしている民間スポーツジムや、個人で独自に開催している講座に移ってもらえるようにしました。そして、クラブには常に初心者が入門し、極めたい人は指導者の所に直接参加するという好循環が出来上がりました。それによっておのこの指導も自然と丁寧になり、クラブの教室の質も上がるという相乗成長効果がありました。現在では、競技種目・文化・フィットネスなど、総勢130名の方に指導者登録をしていただいております。



8月に行われたトリムマラソンの様子



地域密着で行われているミニバスケットボール



クラブには託児の受け入れシステムもある

## 4 | 行政への働きかけや個のつながりから広がる人材確保の道

指導者確保のための取り組みとして、まずはクラブパンフレットの質を高め、伊那市(行政)に理解していただき、市報とともにクラブパンフレットを全市へ配布することができました。また、県を通じ、上伊那スポーツ振興協議会の協力を得て、市外の小中学校にも配布することができ、広域的に「だれもが指導者になれる」ということが目に触れやすい環境を整えました。市内外からの「こんなことができますが、教室は開けますか?」という気軽に問い合わせのできる窓口もあります。

そして、現在では当初のマネジャーなどの個のつながりから発展し、現在ではさらに広く人材確保の道ができました。こうして一年を通じて指導者の方から多くの企画案をいただき、今では114講座を開催しています。しかし、これらのことは一朝一夕にはできませんでした。まず、クラブの理念を理解してもらうことに始まり、出会った一人一人の価値観が違う中で、共通点を見つけだしたり手放したりと、前向きにマネジメントしていくことが、楽しくできるようになるまでには時間がかかりました。あらゆる成功体験だけでなく、失敗しても諦めずに続けてきた経験があってよかったと思います。

## 5 | マネジャー・スタッフの好循環がクラブの発展につながる

マネジャーに必要な要素は徹底した地元愛があること。つまり、地域のネットワークがあり、そこから地域を元気にするためにさらにネットワークを広げることができ、それが喜びであると感じ、行動が仕事になっていること。クラブ理念の中の「OK! OK!の関係」、共同体の感覚を持てることが大切だと思っています。常にだれかをおもてなししたいと思える人、だれかの喜ぶ顔がガソリンになる人が人間関係の好循環を生んでいくとわかりました。

そして、マネジャー・スタッフの好循環ができると、そこからスポーツ指導者・運動指導者や文化指導者などへと輪が広がり「総合型地域スポーツクラブ」としても発展していくことが可能になります。また組織のトップである春日明男委員長が「とにかくやってみよう!」精神で、マネジャーの相談にも「やってみたらいい」と答えるので、失敗を恐れず実践することができ、その先に答えは自然と出てきました。

大局的に組織を見守る人、現実にマネジメントする人、現場で指導する人たちの役割が交わりながらも、明確であることが大切だと考えています。  
(クラブマネジャー/山岸洋子)



### スタッフの声

- クラブに関わることによって社会貢献が自分の生きる力となって返ってくるとさらに実感しています。そして、地域を元気にするサポーターだと感じ、誰かの何かの役に立っていることで、日々の生活も変わってきました。
- 誘われてよく知らずに関わりましたが、ほかのスタッフの活動を見て知ったことで、もっとこのクラブのことを多くの人に広めたいと思うようになりました。



### 指導者の声

- クラブで指導することで、自分が今までスポーツを通じて与えてもらった感動や信頼感を再認識でき、それが生きがいになっています。
- 総合型クラブは、本当に自分のやりたいことをかなえられる場所です。だれかの自己実現の力になりたいという気持ちを発揮できる場所だと実感しています。
- 私は自分の持っている物や力をガソリンにして、人の役に立ちたい、人の役に立てる居場所をつくるのが、総合型の指導者なのだと思っていて、深く感じています。





## クラブプロフィール

- 設立年月日：平成20年4月1日
- 所在地：長野県伊那市
- 運営：会員数2,569名（平成27年9月現在） 予算規模2,500万円（平成26年度）
- 特徴：当クラブは、「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」を基本理念に、妊婦さんから90歳までの会員の参加により、年間スポーツ・運動や文化講座を114講座開講しています。また、地域のスポーツ少年団、中学校の社会体育・運動サークルなども応援し、イベントは年間12回、地域スポーツの拠点になるよう活動しています。

連絡先：〒396-0026 長野県伊那市西町5824  
ウエストスポーツパーク管理センター2階  
TEL：0265-73-8573 FAX：0265-98-0270  
Eメール：inasougo@valley.ne.jp  
ホームページ：<http://inasougo.com/>